

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	美濃市立美濃中学校		
実 施 期 間	平成26年10月4日（土）、11月3日（月）		
実 施 概 要	<p>1) 教育講演会（10月4日） 岐阜ダルク施設長を講師に迎え、薬物の実際の恐ろしさと身近にせまる危機について生徒の実生活に触れ、人としての生き方について自分を振り返る機会となるような講話を聞く。</p> <p>2) 資源回収（11月3日） 全校生徒が保護者と協力し、地域ごとに各家庭を訪問し、資源を回収する。</p>		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	1) 約200 2) 約400	計 延べ 約600 人
	地域関係者	3 人	
実 施 状 況	<p>1) 教育講演会 講師に岐阜ダルクから3人招へいし、体験談を聴くことができた。一人の方は、軽い気持ちから始めた薬物だが、依存してしまうと幻覚が見えたり、閉じこもったり、育児を放棄したりして、正常でいられなくなるといった薬物の常習性や危険性を学ぶことができた。薬物は自分の意志では断ち切ることができず、医療にかからねば治らないことも学ぶことができた。</p> <p>2) 資源回収 事前にPTA事業委員会で協議して、回収場所や方法などについて決定した。それを受けて、生徒は分団ごとに役割分担を行った。当日は、全校生徒が保護者とともに担当の地区の家庭を訪問し、新聞・雑誌・段ボール・缶・紙パック・ボロ布を回収した。各地区には、事業委員と担当職員がついて行った。</p>		
成 果 及 び 課 題	<p>1) 教育講演会 ・当初、PTA本部役員会では身近ではない話題について、とりたてて行う内容ではないのではないか、という意見があがった。しかし、危険ドラッグなどの薬物の危険性が頻繁に報道されていることから、講演会を開くことになった。結果的に、体験者から貴重な話を聞くことができ、良い講演だったという意見が多かった。 ・生徒は、薬物について知識が乏しいために、真剣に話を聞くことができ、恐ろしさを理解することができた。</p> <p>2) 資源回収 ・自分たちの活動費となることで、積極的に活動できた。 ・保護者が大変協力的であり、積極的な姿が生徒に良い影響を与えている。 ・地域の方々も、中学生の資源回収活動を期待しており、生徒たちにとってもやり甲斐を感じるものとなっている。</p>		